

君津中央病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	急性膿胸に対するウロキナーゼ溶解療法および胸腔内抗菌薬投与 (研究倫理委員会承認番号：686)
当院の研究責任者 (所属)	飯田 智彦 (医務局呼吸器外科)
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	<p>急性膿胸の治療には、胸腔ドレナージおよび適切な抗菌薬投与が一般的です。ドレナージにより十分な排膿による肺の再膨張の促進、膿胸腔の減少を目指します。急性膿胸では胸腔内にフィブリンによる隔壁形成に伴い胸腔ドレナージが十分施行できない場合や無菌化を得られた際も胸腔内にスペースが残存し、後に膿胸が再燃することがあります。</p> <p>急性膿胸に対しウロキナーゼ溶解療法を施行し、隔壁を溶解することで胸腔ドレナージをより効果的にし、手術を回避できることがあります。また、無菌化が得られ膿胸が改善しても、胸腔内にスペースが残存した際に、胸腔内抗菌薬投与を行うことで、再燃を防ぐことが可能となります。</p> <p>いずれも薬事承認上は適応外での使用ではありますが、患者様にとって十分有用な治療法であると思われれます。</p>
調査データの 該当期間	2022年承認後～2028年3月(5年間)
研究の方法 (対象となる方)	<u>選択基準</u> 急性膿胸罹患患者。

研究の方法 (使用する情報)	将来の保険適用に向けて使用した患者様の臨床データを蓄積し、必要時には臨床研究として、学会等での発表を行います。
資料・情報の他機関 への提供	特になし。 (プライバシー、情報は匿名化されます)。
個人情報の取扱い	診療情報については個人が特定できる情報を削除して個人が特定できないようにして管理する。
本研究の資金源 (利益相反)	特になし。
お問い合わせ先	研究責任者 君津中央病院呼吸器外科科長 飯田智彦 住所：千葉県木更津市桜井 1010 TEL：0438-36-1071
備考	本治療は薬事承認上は適応外治療ではありますが、他に代用品がなく保険審査にて使用は認められております。

君津中央病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	難治性肺癰に対する胸膜癒着剤としてのピシバニールおよび50%グルコースの使用（研究倫理委員会承認番号：686）
当院の研究責任者 （所属）	飯田 智彦（医務局呼吸器外科）
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	肺癌または気胸術後の難治性肺癰や手術不能である自然気胸に対しての難治性肺癰に対し、胸膜癒着術は一般的な治療です。 難治性悪性胸水の治療として使用されるピシバニールは、上記難治性肺癰に対しても慣用的に使用されており、その有用性は報告されています。同様に50%グルコースも胸膜癒着剤として有用性が報告されています。いずれも薬事承認上は適応外での使用ではありますが、他に代用品もないため、患者様にとって十分有用な治療法であると思われれます。
調査データの 該当期間	2022年承認後～2028年3月まで(5年間)
研究の方法 （対象となる方）	<u>選択基準</u> 肺癌または気胸術後の難治性肺癰の患者。 手術不能である自然気胸に対しての難治性肺癰の患者。 治療において、十分体力があると思われる患者。
研究の方法 （使用する情報）	将来の保険適用に向けて使用した患者様の臨床データを蓄積し、必要時には臨床研究として、学会等での発表を行います。
資料・情報の他機関 への提供	特になし。 （プライバシー、情報は匿名化されます）。

個人情報の取扱い	診療情報については個人が特定できる情報を削除して個人が特定できないようにして管理する。
本研究の資金源 (利益相反)	特になし。
お問い合わせ先	研究責任者 君津中央病院呼吸器外科科長 飯田智彦 住所：千葉県木更津市桜井 1010 TEL：0438-36-1071
備考	本治療は薬事承認上は適応外治療ではありますが、他に代用品がなく保険審査にて使用は認められております。

君津中央病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	自然気胸術後再発に対して酸化セルロースおよび 50%グルコースの使用（研究倫理委員会承認番号：686）
当院の研究責任者 （所属）	飯田 智彦（医務局呼吸器外科）
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	自然気胸手術後再発は約 10%に見られており、その再発を予防するために胸膜補強剤として慣用的に酸化セルロース(サージセル)が使用され、その再発予防効果が報告されています。近年では 50%グルコースでの胸膜補強の再発予防効果が報告されてます。いずれも胸膜補強剤としては、薬事承認上は適応外での使用ではありますが、患者様にとって十分有用な治療法であると思われます。
調査データの 該当期間	2022 年承認後～2028 年 3 月(5 年間)
研究の方法 （対象となる方）	選択基準 自然気胸手術患者。
研究の方法 （使用する情報）	将来の保険適用に向けて使用した患者様の臨床データを蓄積し、必要時には臨床研究として、学会等での発表を行います。
資料・情報の他機関 への提供	特になし。 （プライバシー、情報は匿名化されます）。
個人情報の取扱い	診療情報については個人が特定できる情報を削除して個人が特定できないようにして管理する。
本研究の資金源 （利益相反）	特になし。

お問い合わせ先	研究責任者 君津中央病院呼吸器外科科長 飯田智彦 住所：千葉県木更津市桜井 1010 TEL：0438-36-1071
備考	本治療は薬事承認上は適応外治療ではありますが、保険審査にて使用は認められております。